



# 省エネ対策強化へ

クレームを恐れず

「建築設備士の日」に当り、一言お慶祝申し上げます。建築設備士は、建築士法に基づき、1985年に建築設備に関する知識および技能に関する知識および技能をもつた者で、建築設備工事の監理と施工を専門とする士業として創設されました。本年3月までに4万2千人です。高い建築物の提供に貢献が誕生し、活躍されている。高度な専門知識と実績をもつています。また、建築設備士は、建築設備の質の高い建築物の提供に貢献いただいている建築設備

国土交通大臣 石井 啓一

質の高い建築物提供に敬意

の高い建築物提供に敬意を表すために、深く敬意を表する次第であります。

建築物は、われわれの生活や経済活動の基盤であり、誰もが安心して快適に使用できることが極めて重要であります。そのためには、建築設備、地球温暖化対策を一層進めつつ、常に安全性に対する安心感を保つ環境への配慮など、さまざまな課題に対応していくことが求められています。

このようなか、昨年公布された「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」ますます大きくなっています。この法律は、建築物の省エネ対策を強化することの重要性は高まっています。この法律により、建築設備士への国民的臨席の指さまでござるが、この法律は、社会から寄せられる期待も大きく変わっています。

において、2000平方㍍以

既存建築物の維持管理、新築建築物の指さまでござります。

上の非住宅建築物の省エネ基準への適合度が義務化され、そこで適合性判定を行つて判定員として建設設備士が位置付けられました。

そのために、建築設備士が地域温暖化対策を一層進めていくとともに、産業部門や輸送部門のエネルギー消費量が減ることを期待しております。

た建築物が社会的な資産として、多くの方々に安心して利用されるスタートとなることを期待しております。

結びに、建築設備士各位の

野部 明示的に窓が開くという状況で、由度を与えるだけでは相当意識が変わってしまう。環境制御に対しても、どうやって見せるか、情報を出すか、そういうデザインの問題はすごく必要ですが、今は単につじつま合わせで終わっています。

性の探究は手詮ばかりにならなくてからで  
はない、少し勢いのあるやるべき  
です。  
ただ、業界にそういう余裕があり  
ません。建築のデザインと設備とい  
う機能的話は、今まで建築の生産の  
重層構造の中で下部、下請的にエン  
ジニアリングがありましたが、ZE  
は建築設備のない建築をやつて  
つくるかといふ話だと想います。

**野部** 物を走る仕事から知恵す  
す仕事にしないといけないです  
例えば、昔、熱帯性は患者でし  
結局、この体温は熱容量がなく  
プラスチーポーなど軽い  
いから、ひよろひよろして安  
ない、自律的な空間ができる  
す。やはり建築は自律的である  
です。自律、セルフスタビリテ  
のある建築であるべきです。

**エネルギーを建物側に変換**  
でも最近、自然換気がで  
ん仕掛けを窓の下に設け  
は開かないけれど、その  
対して誰も鋭敏に感じて  
センサーではなくて皮膚  
したいものです。最近は

そういう方向に行きますね。空間  
うのは、実はエネルギーがあふ  
ります。こういう状態でも太陽  
ルギーがぎんぎんと降り注ぐし

例えばエアコンのCMでも、室内を外部が適度な環境にするというだ。結露は夢とすり込まれる。だから、一般消費者も建物で何か起きることに対する過剰なやうい敏感さ。本来は自然環境に対する敏感さ。

イーに対する新たな闇わり方がデザインできませんかと考えています。

**野部** 慮の性能というのは、防音等級や閉じたときの性能でしか示していない。本当に開けた時の性能を言わなくなればいけないのに、空気の通り道としてデザインされているんですね。

**那須原** クレームを恐れるがために例えば設備の容量を大きくすると、いう妥協な走り方をする。そうすると、全部負荷特性が悪くなり、最終的に本末倒置で使用量が大きくなっています。

**野部** 空間が見えてから設備をお願いする建築といった方がいいですね。要最小限というか、うまく調和して建築といった方がいいですね。

**野部** 設備のない建物で、ちょっといえば過ぎですが、それでもうまく調和して、空間のクリティカルな要素としてみれば、まだまだあります。そこにはたくさんあると思いますが、今までいかないでですね。

**千葉** 建築意匠の人も、あるといふところを改めないといけないのでしょうね。

**野部** 設備のない建物で、ちょっといえば過ぎですが、それでもうまく調和して、空間のクリティカルな要素としてみれば、まだまだあります。そこにはたくさんあると思いますが、今までいかないでですね。

野部 最近、ネット・ゼロ・エネルギー建築（ZEB）やネット・ゼロ・エネルギー住宅（ZEH）が話題です。SUSエネルギーは、すでに消費エネルギー削減の競争場所なので、もう少し競争を強化する機会ではないかと思います。空調とか衛生工学など、あまり規格化しないほうがむしろ親切なのがかなと思っています。

(つづき) 「があったたけど、実に豊かな建真がありました。が、今日ではせいぜい「フラッシュ」とか「框(カマド)」くらいで、極端にその種類が減つてしまっています。

建真というのは建築の中で唯一動くところで、住んでる人が実際にかかることができる部位です。開けたり閉めたり、それによって光や風、湿度をコントロールしていましが、それができなくなったりの人は大変困ります。たまに、なぜなりに理由もあると思うので、今の住まい方にふさわしい新しい建真を見つけていくこと

一時期、建築の設備と言ふと部足し算でいろいろなもののが装せられ、結果的に過剰スペックになってしまっていましたが、それが果的にどうに行つても同じ結果がでるという、設備としては、もつたない、もつたない備は建築にフィードバックでき面がかなり多いと思います。

従来だと、建築をつくってから調をどうし、建真をどうしようかとなると、逆に蓄熱を利用することによって、通常寒われる日が豊かな熱源に見えて

皮膚感覺通<sub>レ</sub>ニ靈竅問頑才心

## 法律で「建築設備士」の名称規定

建築設備士は、建築士の求めに応じて、空調・換気、給排水衛生、電気など設備関係の設計・工事監理に対するアドバイスを行える国家資格者。建築設備の高度化・複雑化に伴い、1983年の建築士法の改正時に創設され、1985年11月18日に資格要件が告示された。昨年6月27日に建築士法の改正・公布が行われ、法律上に「建築設備士」の名称が規定（第2条第5項）された。

延べ床面積2,000平方㍍を超える建築物の建築設備については、建築士が建築設備士の意見を聞くことが事で展開している。

街区の中で建物を建った  
える化  
同時に社会的な生き物でもあるけれども、  
環境のさまざまな問題は、「皮膚感覚」  
が取り戻せるかが、今、まだ思  
いますし、建築はそれを顕在化させ  
るに一番いいツールだとも思いま  
す。建築があるからこそ街の地域、  
環境のことなどがより深く理解できるの  
だと思います。  
**野部** 建築設備も、議論をどこか  
でしなくてはいけませんね。  
**那須原** 建築設備業界でのものよ  
うな議論の場を今後は広げていきた  
いと思います。

建築家「不利益ではなく、見えてくる。そもそもエネルギー的な視点で見に道路があるほうがいい」

「人は動物」を再認識  
千葉 21世紀は、人間が動物であつたことを再認識する時代だと僕は

のではないでしょ  
れからコミュニティーの  
のパラメーターでもあり  
り、それだけでなくて、  
か介在する。顔を見る  
のが非常に大事で、私が  
も建築設備の「顔の見え  
覚会」というのを始めて  
まで減点主義のチェック  
部管理していたのを、顔  
で思いもよらない複合  
のではないかと思うので  
はないでしょ  
なれば。  
**千葉** 建築をやっている人たち  
中には、設備が単に機械をインスト  
ールするだけではない方向に進んで  
ほしいと思いつつは多いと思い  
ます。そもそも環境問題は、多いと思  
います。人間の皮膚感覚を通して意識的  
問題ですから、数学の問題に置きかか  
えるように環境問題は永遠に解決  
できないと思います。このことと、  
設備の設計が進むべき方向性は、ど  
こかで連座しているものがあります  
。その辺りのせひとも発信  
して、今っぽいと思います。  
**野部** 建築設備も、ステージの高

十人が地域媒介としての自体が電気をつくつて、町でバックする利益をもつて、そういう活動を見ね。そういう活動を見ねるなら意識疎通でつながる参加する結果野を広げないと、下請け的な仕事のままになってしまいます。

那須原 建築自体が文化で、その中にどんどん設備の部分が入って同じ文化として醸成できると、おもしろくなります。

野部 そういうものをつくりたいですね。設備は敷地だけしか残らない。評価システムが非常に乏しいで

ニティの媒介にもな  
單なる需要と供給の関  
もう少し広域のかつ社  
す。  
ルギーは今後、社会あ  
ニティの媒介にもな  
單なる需要と供給の関  
もう少し広域のかつ社  
す。  
ルギーは今後、社会あ  
ニティの媒介にもな  
單なる需要と供給の関  
もう少し広域のかつ社  
す。